

HA8000シリーズ

HITACHI
Inspire the Next

JP1/ServerConductor/
Deployment Manager

サプリメントガイド

マニュアルはよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。

このマニュアルは、いつでも参照できるように、手近な所に保管してください。

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複製することは固くお断わりします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本製品を運用した結果については責任を負いません。あらかじめご了承ください。

登録商標・商標について

Microsoft, MS-DOS, Windows, Windows Server, Windows NT は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

著作権について

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、無断で記載することは禁じられています。

Copyright© Hitachi, Ltd. 2004, 2011. All rights reserved.

はじめに

このたびは日立 PC サーバーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このマニュアルは、日立ミドルウェア・OS デプロイメント管理ソフトウェア『JP1/ServerConductor/Deployment Manager』の補足事項や制限事項について記載しています。

本マニュアルについて

本マニュアルは、『JP1/ServerConductor/Deployment Manager』を HA8000 シリーズで使用する上での補足事項および制限事項についてまとめています。

システム装置の設定、構成に関しては、システム装置添付マニュアル『ユーザズガイド』、『ソフトウェアガイド』、『リファレンスガイド』、『お詫びと訂正』および、各オプションマニュアルをご参照ください。

また、『JP1/ServerConductor/Deployment Manager』の機能や設定、使用方法に関しては、『JP1/ServerConductor/Deployment Manager』のマニュアルをご参照ください。

目次

重要なお知らせ	2
登録商標・商標について	2
著作権について	2
はじめに	3
本マニュアルについて	3
1 ネットワークブートについて	5
ネットワークブートを必要とする機能とサポート機種	5
ネットワークブートの設定方法	25
2 制限事項について	31
ネットワークブートの制限事項	31
BIOSアップデート時の制限事項	41
3 『Deployment Manager』用アップデートツールの 作成について	42
アップデートツール作成手順	42

1

ネットワークブートについて

この章では、『JP1/ServerConductor/Deployment Manager』を使用する上で必要となるシステム装置のネットワークブート設定について説明します。

ネットワークブートを必要とする機能とサポート機種

『JP1/ServerConductor/Deployment Manager』の次の機能を使用する場合、管理サーバーに登録している OS や BIOS などのイメージファイルから、管理対象となるシステム装置をネットワーク経由で起動（PXE：Preboot eXecution Environment ブート機能、以下 ネットワークブート）する必要があります。

- A OS のクリアインストール *1
- B システム BIOS やファームウェアのアップデート
- C サービスパック、HotFix の適用、Linux パッチファイルの適用
- D バックアップ/リストア
- E ディスク複製インストール
- F VMware のゲスト OS の OS クリアインストール *1 *2
- G VMware のゲスト OS のサービスパック、HotFix の適用、Linux パッチファイルの適用 *2
- H VMware のゲスト OS のバックアップ/リストア *2
- I VMware のゲスト OS のディスク複製インストール *2

*1: 『JP1/ServerConductor/Deployment Manager』の09-00以降ではサポートしていません。

*2: HA8000 xGシリーズ以降のVMware ESX / VMware ESX Serverが動作するモデル、およびVMware ESX / VMware ESX Serverプレインストールモデルのみが対象となります。

HA8000 シリーズにおける『JP1/ServerConductor/Deployment Manager』のサポートは次のとおりです。

□ HA8000 xLシリーズ

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		A *1		B	C	D	E		
		Windows *2	Linux				Windows	Linux	
RS440	AL/CL	×	×	×	○	○	○	○	*5 *6
	BL	×	×	×	○	○	○	○	*5
RS220 *3	AL	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6 *7
	BL/CL	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6 *7
	DL	×	×	×	○	○	○	×	*5 *6 *7
	EL	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *7
RS210 *3	AL	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6 *7
	BL/CL	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6 *7
	EL	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *7
RS110	AL/BL	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6 *7
	CL/EL	×	×	×	○	○	○ *4	×	*5 *6
	DL/FL	×	×	×	×	×	×	×	
	GL	×	×	×	○	○	○ *4	×	*5 *6 *7
TS20 *3	AL	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6 *7
	BL	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6 *7
	EL	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *7
TS10	AL/BL	×	×	×	○	○	○	○	*5 *6 *7
	CL/EL	×	×	×	○	○	○	×	*5 *6
	DL/FL	×	×	×	×	×	×	×	
	GL	×	×	×	○	○	○	×	*5 *6 *7
SS10	AL	×	×	×	○	○	○	×	*5 *6 *7
	CL/EL	×	×	×	○	○	○	×	*5 *6
	DL/FL	×	×	×	×	×	×	×	

A OSのクリアインストール
 B システムBIOSやファームウェアのアップデート
 C サービスパック、HotFixの適用、Linuxパッチファイルの適用
 D バックアップ/リストア
 E ディスク複製インストール

*1: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしておりません。

*2: Windows Server 2008のクリアインストールはサポートしておりません。

*3: Windows BitLocker機能を使用する場合、JP1/ServerConductor/Deployment Managerによるバックアップ/リストアはサポートしておりません。

*4: Windowsプレインストールモデルをラックキャビネットに搭載してご使用の場合、Windows Physical Key / Product Keyはシステム装置添付「セットアップについて」表紙に貼り付けられているPhysical Key / Product Keyのコピーをご参照ください。システム装置側面のCOAラベルに記載されたWindows Physical Key / Product Keyは視認できません。

*5: 拡張ボードの構成を変更した場合、ネットワークブートの再設定が必要になる場合がありますので、ご確認願います。

*6: RAID追加機能の「MegaRAID Recovery機能」を使用する環境を管理対象とする場合の動作は確認中です。

*7: システム装置の構成により、ネットワークブートに制限があります。詳細については「[ネットワークブートの制限事項](#) P.31

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		F *8		G	H		I		
		Windows *9	Linux *10		Windows	Linux	Windows	Linux	
RS440	AL	○	○	○	○	○	○	○	*11
	BL/CL	×	×	×	×	×	×	×	
RS220	AL	○	○	○	○	○	○	○	*11
	BL/CL/DL/EL	×	×	×	×	×	×	×	
RS210	AL	○	○	○	○	○	○	○	*11
	BL/CL/EL	×	×	×	×	×	×	×	
RS110	AL/BL/CL/DL/ EL/FL/GL	×	×	×	×	×	×	×	
TS20	AL	○	○	○	○	○	○	○	*11
	BL/EL	×	×	×	×	×	×	×	
TS10	AL/BL/CL/DL/ EL/FL/GL	×	×	×	×	×	×	×	
SS10	AL/CL/DL/ EL/FL	×	×	×	×	×	×	×	

F VMwareのゲストOSのクリアインストール H VMwareのゲストOSのバックアップ/リストア
 G VMwareのゲストOSのサービスパック、HotFixの適用、Linuxパッチファイルの適用 I VMwareのゲストOSのディスク複製インストール

*8: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしていません。

*9: Windows 2000およびWindows Server 2008のクリアインストールはサポートしていません。

*10: Red Hat Enterprise Linux 4.5以降およびRed Hat Enterprise Linux 5のクリアインストールはサポートしていません。

*11: Windows NT Serverはサポートしていません。

□ HA8000 xK1 シリーズ

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		A *1		B	C	D	E		
		Windows *2	Linux				Windows	Linux	
RS440	AK1/CK1	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	BK1	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5
RS220 *3	AK1/BK1/HK1	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6 *7
	FK1/JK1	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *7
	KK1/LK1/NK1	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6 *7
RS210 *3	AK1/BK1/HK1	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6 *7
	FK1/JK1	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *7
	KK1/LK1/NK1	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6 *7
RS110	AK1	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6 *7
	BK1	×	×	×	○	○	○ *4	×	*5 *7
	CK1	×	×	×	×	×	×	×	
TS20 *3	AK1/BK1/EK1	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6 *7
	FK1/GK1	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *7
	KK1/LK1	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6 *7
TS10	AK1/BK1	×	×	×	○	○	○ *4	○	*6
	CK1/DK1	×	×	×	○	○	○ *4	○	
	EK1/JK1	×	×	×	○	○	○ *4	×	
	GK1/HK1	×	×	×	○	○	○ *4	○	*6
	FK1/KK1	×	×	×	×	×	×	×	
SS10	AK1	×	×	×	○	○	○	×	*6
	CK1/FK1	×	×	×	○	○	○	×	
	DK1/GK1	×	×	×	×	×	×	×	
	EK1	×	×	×	○	○	○	×	*6

A OSのクリアインストール
 B システムBIOSやファームウェアのアップデート
 C サービスパック、HotFixの適用、Linuxパッチファイルの適用
 D バックアップ/リストア
 E ディスク複製インストール

*1: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしていません。

*2: Windows Server 2008のクリアインストールはサポートしていません。

*3: Windows BitLocker機能を使用する場合、JP1/ServerConductor/Deployment Managerによるバックアップ/リストアはサポートしていません。

*4: Windowsプレインストールモデルをラックキャビネットに搭載してご使用の場合、Windows Physical Key / Product Keyはシステム装置添付「セットアップについて」表紙に貼り付けられているPhysical Key / Product Keyのコピーをご参照ください。システム装置側面のCOAラベルに記載されたWindows Physical Key / Product Keyは視認できません。

*5: 拡張ボードの構成を変更した場合、ネットワークブートの再設定が必要になる場合がありますので、ご確認ください。

*6: RAID追加機能の「MegaRAID Recovery機能」を使用する環境を管理対象とする場合の動作は確認中です。

*7: システム装置の構成により、ネットワークブートに制限があります。詳細については「[ネットワークブートの制限事項](#)」P.31をご参照ください。

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		F *8		G	H		I		
		Windows *9	Linux *10		Windows	Linux	Windows	Linux	
RS440	AK1	○	○	○	○	○	○	○	*11
	BK1/CK1	×	×	×	×	×	×	×	
RS220	AK1/HK1/ KK1/LK1	○	○	○	○	○	○	○	*11
	BK1/FK1/ JK1/NK1	×	×	×	×	×	×	×	
RS210	AK1/HK1/ KK1/LK1	○	○	○	○	○	○	○	*11
	BK1/FK1/ JK1/NK1	×	×	×	×	×	×	×	
RS110	AK1/BK1/CK1	×	×	×	×	×	×	×	
TS20	AK1/EK1/ KK1/LK1	○	○	○	○	○	○	○	*11
	BK1/FK1/GK1	×	×	×	×	×	×	×	
TS10	AK1/BK1/ CK1/DK1/ EK1/FK1/ GK1/HK1/ JK1/KK1	×	×	×	×	×	×	×	
SS10	AK1/CK1/ DK1/EK1/ FK1/GK1	×	×	×	×	×	×	×	

F VMwareのゲストOSのクリアインストール H VMwareのゲストOSのバックアップ/リストア
 G VMwareのゲストOSのサービスパック、HotFixの適用、Linuxパッチファイルの適用 I VMwareのゲストOSのディスク複製インストール

*8: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしていません。

*9: Windows 2000およびWindows Server 2008のクリアインストールはサポートしていません。

*10: Red Hat Enterprise Linux 4.5以降およびRed Hat Enterprise Linux 5のクリアインストールはサポートしていません。

*11: Windows NT Serverはサポートしていません。

□ HA8000 xK / HA8000-es xKシリーズ

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		A *1		B	C	D	E		
		Windows *2	Linux				Windows	Linux	
RS440	AK	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5
	BK	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5
	CK	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5
RS220 *3	AK/BK/CK/HK	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	FK/GK/JK	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	KK/LK/MK/NK	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
RS210 *3	AK/BK/CK/HK	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	FK/GK/JK	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	KK/LK/MK/NK	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
RS110	AK	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	BK	×	×	×	○	○	○ *4	×	*5 *6
	CK	×	×	×	×	×	×	×	
TS20 *3	AK/BK/EK	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	FK/GK	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	KK/LK	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
TS10	AK/BK	×	×	×	○	○	○ *4	○	
	CK/DK	×	×	×	○	○	○ *4	○	
	EK/JK	×	×	×	○	○	○ *4	×	
	GK/HK	×	×	×	○	○	○ *4	○	
	FK/KK	×	×	×	×	×	×	×	
SS10	AK	×	×	×	○	○	○	×	
	CK/FK	×	×	×	○	○	○	×	
	DK/GK	×	×	×	×	×	×	×	
	EK	×	×	×	○	○	○	×	

A OSのクリアインストール D バックアップ/リストア
 B システムBIOSやファームウェアのアップデート E ディスク複製インストール
 C サービスパック、HotFixの適用、Linuxパッチファイルの適用

- *1: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしていません。
- *2: Windows Server 2008のクリアインストールはサポートしていません。
- *3: Windows BitLocker機能を使用する場合、JP1/ServerConductor/Deployment Managerによるバックアップ/リストアはサポートしていません。
- *4: Windowsプレインストールモデルをラックキャビネットに搭載してご使用の場合、Windows プロダクトIDはシステム装置添付「セットアップについて」表紙に貼り付けられているプロダクトIDのコピーをご参照ください。システム装置側面のCOAラベルに記載されたWindows プロダクトIDは視認できません。
- *5: 拡張ボードの構成を変更した場合、ネットワークブートの再設定が必要になる場合がありますので、ご確認願います。
- *6: システム装置の構成により、ネットワークブートに制限があります。詳細については「[ネットワークブートの制限事項](#)」P.31をご参照ください。

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		F *7		G	H		I		
		Windows *8	Linux *9		Windows	Linux	Windows	Linux	
RS440	AK	○	○	○	○	○	○	○	*10
	BK/CK	×	×	×	×	×	×	×	
RS220	AK/CK/HK/KK	○	○	○	○	○	○	○	*10
	BK/FK/GK/JK/ LK/MK/NK	×	×	×	×	×	×	×	
RS210	AK/CK/HK/ KK/LK/MK	○	○	○	○	○	○	○	*10
	BK/FK/JK/ GK/NK	×	×	×	×	×	×	×	
RS110	AK	×	×	×	×	×	×	×	
	BK	×	×	×	×	×	×	×	
	CK	×	×	×	×	×	×	×	
TS20	AK/EK/KK/LK	○	○	○	○	○	○	○	*10
	BK/FK/GK	×	×	×	×	×	×	×	
TS10	AK/BK	×	×	×	×	×	×	×	
	CK/DK	×	×	×	×	×	×	×	
	EK/FK/JK/KK	×	×	×	×	×	×	×	
	GK/HK	×	×	×	×	×	×	×	
SS10	AK	×	×	×	×	×	×	×	
	CK/DK/FK/GK	×	×	×	×	×	×	×	
	EK	×	×	×	×	×	×	×	

F VMwareのゲストOSのクリアインストール H VMwareのゲストOSのバックアップ/リストア
 G VMwareのゲストOSのサービスパック、HotFixの適用、Linuxパッチファイルの適用 I VMwareのゲストOSのディスク複製インストール

*7: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしておりません。

*8: Windows 2000およびWindows Server 2008のクリアインストールはサポートしておりません。

*9: Red Hat Enterprise Linux 4.5以降およびRed Hat Enterprise Linux 5のクリアインストールはサポートしておりません。

*10: Windows NT Serverはサポートしておりません。

□ HA8000 xJ / HA8000-es xJシリーズ

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		A *1		B	C	D	E		
		Windows *2	Linux				Windows	Linux	
RS440	AJ	○	×	×	○	○	○	○	*5
	BJ [HRA380] *3	○	×	×	○	○	○	○	*5
	BJ [HRA381] *3	×	×	×	○	○	○	○	*5
RS220	AJ/BJ/CJ/ DJ/HJ	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	FJ/GJ/JJ [HRA380] *3	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	FJ/GJ/JJ [HRA381] *3	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	KJ/LJ	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
RS210	AJ/BJ/CJ/HJ	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	FJ/GJ/JJ [HRA380] *3	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	FJ/GJ/JJ [HRA381] *3	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	KJ/LJ	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
RS110	AJ	×	×	×	×	×	×	×	
	BJ	×	×	×	×	×	×	×	
	CJ	×	×	×	×	×	×	×	
TS20	AJ/BJ/EJ	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	FJ [HRA380] *3	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	FJ [HRA381] *3	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	GJ	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
	KJ/LJ	×	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
TS10	AJ/BJ	×	×	×	×	×	×	×	
	CJ/DJ	×	×	×	×	×	×	×	
	EJ/JJ	×	×	×	×	×	×	×	
	FJ/KJ	×	×	×	×	×	×	×	

A OSのクリーンインストール
 B システムBIOSやファームウェアのアップデート
 C サービスパック、HotFixの適用、Linuxバッチファイルの適用
 D バックアップ/リストア
 E ディスク複製インストール

*1: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしておりません。

*2: Windows Server 2008のクリーンインストールはサポートしておりません。

*3: システム装置は購入時期により2009年06月～モデルと2009年11月～モデルがあります。このうち、日立製RAIDを搭載するモデルは、ディスクアレイコントローラボードが次のとおり異なります。

・2009年06月～モデル：「HRA380」（以下 HRA380搭載モデル）

・2009年11月～モデル：「HRA381」（以下 HRA381搭載モデル）

JP1/ServerConductor/Deployment Manager 08-70またはそれ以前では、HRA381搭載モデルをサポートしておりません。08-80以降を導入してください。

*4: Windowsプレインストールモデルをラックキャビネットに搭載してご使用の場合、Windows プロダクトIDはシステム装置添付「セットアップについて」表紙に貼り付けられているプロダクトIDのコピーをご参照ください。システム装置側面のCOAラベルに記載されたWindows プロダクトIDは視認できません。

*5: 拡張ボードの構成を変更した場合、ネットワークブートの再設定が必要になる場合がありますので、ご確認願います。

*6: システム装置の構成により、ネットワークブートに制限があります。詳細については「[ネットワークブートの制限事項](#)」P.31をご参照ください。

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		F *7		G	H		I		
		Windows *8	Linux *9		Windows	Linux	Windows	Linux	
RS440	AJ	○	○	○	○	○	○	○	*10
	BJ	×	×	×	×	×	×	×	
RS220	AJ/CJ/DJ/HJ	○	○	○	○	○	○	○	*10
	BJ	×	×	×	×	×	×	×	
	FJ/GJ/JJ	×	×	×	×	×	×	×	
	KJ/LJ	×	×	×	×	×	×	×	
RS210	AJ/CJ/HJ	○	○	○	○	○	○	○	*10
	BJ	×	×	×	×	×	×	×	
	FJ/GJ/JJ	×	×	×	×	×	×	×	
	KJ/LJ	×	×	×	×	×	×	×	
RS110	AJ	×	×	×	×	×	×	×	
	BJ	×	×	×	×	×	×	×	
	CJ	×	×	×	×	×	×	×	
TS20	AJ/EJ	○	○	○	○	○	○	○	*10
	BJ	×	×	×	×	×	×	×	
	FJ/GJ	×	×	×	×	×	×	×	
	KJ/LJ	×	×	×	×	×	×	×	
TS10	AJ/BJ	×	×	×	×	×	×	×	
	CJ/DJ	×	×	×	×	×	×	×	
	EJ/JJ	×	×	×	×	×	×	×	
	FJ/KJ	×	×	×	×	×	×	×	

F VMwareのゲストOSのクリアインストール H VMwareのゲストOSのバックアップ/リストア
 G VMwareのゲストOSのサービスパック、HotFixの適用、Linuxパッチファイルの適用 I VMwareのゲストOSのディスク複製インストール

*7: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしていません。

*8: Windows 2000およびWindows Server 2008のクリアインストールはサポートしていません。

*9: Red Hat Enterprise Linux 4.5以降およびRed Hat Enterprise Linux 5のクリアインストールはサポートしていません。

*10: Windows NT Serverはサポートしていません。

□ HA8000 xH / HA8000-es xHシリーズ

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		A *1		B	C	D	E		
		Windows *2	Linux				Windows	Linux	
RS440	AH	○	×	×	○	○	○	○	*4
	BH	○	×	×	○	○	○	×	*4
RS220	AH/BH/ CH/DH	○ *3	×	×	○	○	○ *3	○	*4 *5
	EH	×	×	×	×	×	×	×	
RS210	AH/BH/CH	○ *3	×	×	○	○	○ *3	○	*4 *5
	EH	×	×	×	×	×	×	×	
RS110	AH	○ *3	×	×	○	○	○ *3	○	*4
	BH	○ *3	×	×	○	○	○ *3	×	*4
	CH	×	×	×	×	×	×	×	
TS20	AH/BH/ CH/DH	○ *3	×	×	○	○	○ *3	○	*4 *5
TS10	AH/BH	○ *3	×	×	○	○	○ *3	○	*4
	CH	○ *3	×	×	○	○	○ *3	×	*4
	DH	×	×	×	×	×	×	×	
	EH	○ *3	×	×	○	○	○ *3	×	*4

A OSのクリアインストール

B システムBIOSやファームウェアのアップデート

C サービスパック、HotFixの適用、Linuxパッチファイルの適用

D バックアップ/リストア

E ディスク複製インストール

*1: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしておりません。

*2: Windows Server 2008のクリアインストールはサポートしておりません。

*3: Windowsプレインストールモデルをラックキャビネットに搭載してご使用の場合、Windows プロダクトIDはシステム装置添付「セットアップについて」表紙に貼り付けられているプロダクトIDのコピーをご参照ください。システム装置側面のCOAラベルに記載されたWindows プロダクトIDは視認できません。

*4: 拡張ボードの構成を変更した場合、ネットワークブートの再設定が必要になる場合がありますので、ご確認願います。

*5: システム装置の構成により、ネットワークブートに制限があります。詳細については「[ネットワークブートの制限事項](#)」P.31をご参照ください。

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		F *6		G	H		I		
		Windows *7	Linux *8		Windows	Linux	Windows	Linux	
RS440	AH	×	×	×	×	×	×	×	
	BH	×	×	×	×	×	×	×	
RS220	AH/CH	○	○	○	○	○	○	○	*9
	BH/DH	×	×	×	×	×	×	×	
	EH	○	○	○	○	○	○	○	*9
RS210	AH/CH	○	○	○	○	○	○	○	*9
	BH	×	×	×	×	×	×	×	
	EH	○	○	○	○	○	○	○	*9
RS110	AH	×	×	×	×	×	×	×	
	BH	×	×	×	×	×	×	×	
	CH	×	×	×	×	×	×	×	
TS20	AH	○	○	○	○	○	○	○	*9
	BH/CH/DH	×	×	×	×	×	×	×	
TS10	AH/BH	×	×	×	×	×	×	×	
	CH	×	×	×	×	×	×	×	
	DH	×	×	×	×	×	×	×	
	EH	×	×	×	×	×	×	×	

: F VMwareのゲストOSのクリアインストール H VMwareのゲストOSのパックアップ/リストア
 : G VMwareのゲストOSのサービスパック、HotFixの適用、Linuxパッチファイルの適用 I VMwareのゲストOSのディスク複製インストール

*6: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしていません。

*7: Windows 2000およびWindows Server 2008のクリアインストールはサポートしていません。

*8: Red Hat Enterprise Linux 4.5以降およびRed Hat Enterprise Linux 5のクリアインストールはサポートしていません。

*9: Windows NT Serverはサポートしていません。

□ HA8000 xG / HA8000-es xGシリーズ

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		A *1		B	C	D	E		
		Windows *2	Linux				Windows	Linux	
RS440	AG	○	×	×	○	○	○	○	
RS220	AG/BG/ CG/DG	○ *3	×	×	○	○	○ *3	○	*4 *5
RS210	AG/BG/CG	○ *3	×	×	○	○	○ *3	○	*4 *5
RS110	AG	○ *3	×	×	○	○	○ *3	○	*4
	BG	○ *3	×	×	○	○	○ *3	×	*4
	CG	×	×	×	×	×	×	×	
TS20	AG/BG/ CG/DG	○ *3	×	×	○	○	○ *3	○	*4 *5
TS10	AG/BG	○ *3	×	×	○	○	○ *3	○	*4
	CG	○ *3	×	×	○	○	○ *3	×	*4
	DG	×	×	×	×	×	×	×	

A OSのクリアインストール

B システムBIOSやファームウェアのアップデート

C サービスパック、HotFixの適用、Linuxパッチファイルの適用

D バックアップ/リストア

E ディスク複製インストール

*1: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしていません。

*2: Windows Server 2008のクリアインストールはサポートしていません。

*3: Windowsプレインストールモデルをラックキャビネットに搭載してご使用の場合、Windows プロダクトIDはシステム装置添付「セットアップについて」表紙に貼り付けられているプロダクトIDのコピーをご参照ください。システム装置側面のCOAラベルに記載されたWindows プロダクトIDは視認できません。

*4: 拡張ボードの構成を変更した場合、ネットワークブートの再設定が必要になる場合がありますので、ご確認願います。

*5: システム装置の構成により、ネットワークブートに制限があります。詳細については「[ネットワークブートの制限事項](#)」P.31をご参照ください。

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		F *6		G	H		I		
		Windows *7	Linux *8		Windows	Linux	Windows	Linux	
RS440	AG	×	×	×	×	×	×	×	
RS220	AG/CG	○	○	○	○	○	○	○	*9
	BG/DG	×	×	×	×	×	×	×	
RS210	AG/CG	○	○	○	○	○	○	○	*9
	BG	×	×	×	×	×	×	×	
RS110	AG/BG/CG	×	×	×	×	×	×	×	
TS20	AG	○	○	○	○	○	○	○	*9
	BG/CG/DG	×	×	×	×	×	×	×	
TS10	AG/BG	×	×	×	×	×	×	×	
	CG/DG	×	×	×	×	×	×	×	

F VMwareのゲストOSのクリアインストール

G VMwareのゲストOSのサービスパック、HotFixの適用、Linuxパッチファイルの適用

H VMwareのゲストOSのバックアップ/リストア

I VMwareのゲストOSのディスク複製インストール

*6: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしていません。

*7: Windows 2000およびWindows Server 2008のクリアインストールはサポートしていません。

*8: Red Hat Enterprise Linux 4.5以降およびRed Hat Enterprise Linux 5のクリアインストールはサポートしていません。

*9: Windows NT Serverはサポートしていません。

RS220 xG、RS210 xG、TS20 xGモデルの使用上の注意

RS220 xG、RS210 xG、TS20 xG モデルは流通ネットワーク機器との組み合わせにおいて、流通ネットワーク機器のリンクスピードが 1Gbps 接続の場合、システム装置の BIOS のバージョンが“F3”以前ではネットワークブートできない事象が確認されています。

本現象は、BIOS バージョン “F4” 以降で対策しております。

ご使用のシステム装置の BIOS バージョンが “F4” よりも古い場合は、次の URL を参照し、BIOS をバージョン “F8” にアップデートしてからご使用ください。

http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/download/drv/drv_hm/210gup3.htm

□ HA8000 xFシリーズ

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		A *1		B	C	D	E		
		Windows *2	Linux				Windows	Linux	
20W	20AF/20BF/ 20GF/20UF/ 20WF	×	×	×	×	×	×	×	
70W	70TF/70VF	×	×	×	×	×	×	×	
110W	110DF	○ *3	×	×	○	○	○ *3 *4	×	
	110FF	○ *3	○	×	○	○	○ *3 *4	○	
	110KF/110LF	○ *3	○	×	○	○	○ *3 *4	○	*5 *6
	110EF	×	×	×	×	×	×	×	
130W	130CF/130DF/ 130EF/130FF	○	○	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
270	270CF/270DF/ 270JF/270KF/ 270LF/270MF	×	×	×	×	×	×	×	

A OSのクリーンインストール
 B システムBIOSやファームウェアのアップデート
 C サービスパック、HotFixの適用、Linuxバッチファイルの適用
 D バックアップ/リストア
 E ディスク複製インストール

*1: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしていません。

*2: Windows 2000クリーンインストールはサポートしていません。

*3: Windowsブレイクインストールモデルをラックキャビネットに搭載してご使用の場合、Windows プロダクトIDはシステム装置添付「セットアップについて」表紙に貼り付けられているプロダクトIDのコピーをご参照ください。システム装置側面のCOAラベルに記載されたWindows プロダクトIDは視認できません。

*4: Windows 2000をご使用の場合、Windowsディスク複製インストール時、お客様所有のWindows 2000 プロダクトIDをご使用ください。

*5: 拡張ボードの構成を変更した場合、ネットワークブートの再設定が必要になる場合がありますので、ご確認願います。

*6: システム装置に増設する拡張ボードの組み合わせにより、ネットワークブートに制限があります。詳細については「ネットワークブートの制限事項」P.31をご参照ください。

□ HA8000 xEシリーズ

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		A *1		B	C	D	E		
		Windows *2	Linux				Windows	Linux	
10V	10AE/10BE/ 10CE	×	×	×	×	×	×	×	
20W	20AE/20BE/ 20GE	×	×	×	×	×	×	×	
30W	30AE/30BE	×	×	×	×	×	×	×	
70W	70KE/70UE/ 70WE	×	×	×	×	×	×	×	
	70PE/70TE/ 70VE	×	×	×	×	×	×	×	
110W	110DE/110FE	○ *3	×	×	○	○	○ *3 *4	○	
	110GE/110HE/ 110KE	○ *3	×	×	○	○	○ *3 *4	○	*5 *6
	110EE	×	×	×	×	×	×	×	
130W	130AE/130BE 130CE/130DE	○	×	×	○	○	○ *4	○	*5 *6
270	270AE/270BE 270CE/270DE 270GE/270HE 270JE/270KE	×	×	×	×	×	×	×	

A OSのクリーンインストール

B システムBIOSやファームウェアのアップデート

C サービスパック、HotFixの適用、Linux/パッチファイルの適用

D バックアップ/リストア

E ディスク複製インストール

*1: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしておりません。

*2: Windows 2000クリアインストールはサポートしておりません。

*3: Windowsプレインストールモデルをラックキャビネットに搭載してご使用の場合、Windows プロダクトIDはシステム装置添付「セットアップについて」表紙に貼り付けられているプロダクトIDのコピーをご参照ください。システム装置側面のCOAラベルに記載されたWindows プロダクトIDは視認できません。

*4: Windows 2000をご使用の場合、Windowsディスク複製インストール時、お客様所有のWindows 2000 プロダクトIDをご使用ください。

*5: 拡張ボードの構成を変更した場合、ネットワークブートの再設定が必要になる場合がありますので、ご確認願います。

*6: システム装置に増設する拡張ボードの組み合わせにより、ネットワークブートに制限があります。詳細については「ネットワークブートの制限事項」P.31をご参照ください。

□ HA8000 xDシリーズ

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		A *1		B	C	D	E		
		Windows *2	Linux				Windows	Linux	
10V	10AD/10BD/ 10CD	×	×	×	×	×	×	×	
20W	20AD/20BD/ 20GD	×	×	×	×	×	×	×	
30W	30AD/30BD	×	×	×	×	×	×	×	
50V	50AD	×	×	×	×	×	×	×	
70W	70KD/70UD	×	×	×	×	×	×	×	
	70PD/70SD/ 70TD	×	×	×	×	×	×	×	
110W	110FD	○ *3	×	×	○	○	○ *3 *4	○	
	110GD	○ *3	×	×	○	○	○ *3 *4	○	*5
	110DD/110ED/ 110HD	×	×	×	×	×	×	×	
130W	130AD/130BD	○	×	×	○	○	○ *4	×	*5 *6
270	270AD/270BD 270GD/270HD	×	×	×	×	×	×	×	

A OSのクリアインストール

B システムBIOSやファームウェアのアップデート

C サービスパック、HotFixの適用、Linuxパッチファイルの適用

D バックアップ/リストア

E ディスク複製インストール

*1: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしていません。

*2: Windows 2000クリアインストールはサポートしていません。

*3: Windowsプレインストールモデルをラックキャビネットに搭載してご使用の場合、Windows プロダクトIDはシステム装置添付「セットアップについて」表紙に貼り付けられているプロダクトIDのコピーをご参照ください。システム装置側面のCOAラベルに記載されたWindows プロダクトIDは視認できません。

*4: Windows Server 2003モデル（Windows 2000ダウングレード代行サービス付）またはWindows 2000をご使用の場合、Windowsディスク複製インストール時、お客様所有のWindows 2000 プロダクトIDをご使用ください。

*5: 拡張ボードの構成を変更した場合、ネットワークブートの再設定が必要になる場合がありますので、ご確認願います。

*6: システム装置に増設する拡張ボードの組み合わせにより、ネットワークブートに制限があります。詳細については「ネットワークブートの制限事項」P.31をご参照ください。

□ HA8000 xCシリーズ

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		A *1		B	C	D	E		
		Windows *2	Linux				Windows	Linux	
10V	10AC/10BC/ 10CC	×	×	×	×	×	×	×	
20W	20AC/20BC/ 20EC/20FC/ 20GC/20HC	×	×	×	×	×	×	×	
30W	30AC/30BC	×	×	×	×	×	×	×	
50V	50AC	×	×	×	×	×	×	×	
70W	70KC/70UC	×	×	×	×	×	×	×	
	70PC/70SC/ 70TC	×	×	×	×	×	×	×	
110W	110DC/110EC	×	×	×	×	×	×	×	
	110GC	○ *3	○ *4	×	○	○	○ *3 *5	○	*6
	110HC	×	×	×	×	×	×	×	
130W	130AC/130BC	○	○ *4	×	○	○	○ *5	○	*6 *7
270	270AC/270BC 270GC/270HC	×	×	×	×	×	×	×	

： A OSのクリアインストール

： B システムBIOSやファームウェアのアップデート

： C サービスパック、HotFixの適用、Linux/パッチファイルの適用

： D バックアップ/リストア

： E ディスク複製インストール

*1: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしていません。

*2: Windows 2000クリアインストールはサポートしていません。

*3: Windowsプレインストールモデルをラックキャビネットに搭載してご使用の場合、Windows プロダクトIDはシステム装置添付「セットアップについて」表紙に貼り付けられているプロダクトIDのコピーをご参照ください。システム装置側面のCOAラベルに記載されたWindows プロダクトIDは視認できません。

*4: 管理サーバ for DPMをWindows Server 2003でご使用の場合、Linuxクリアインストールはサポート対象外です。

*5: Windows Server 2003モデル（Windows 2000ダウングレード代行サービス付）をご使用の場合、Windowsディスク複製インストール時、お客様所有のWindows 2000 プロダクトIDをご使用ください。

*6: 拡張ボードの構成を変更した場合、ネットワークブートの再設定が必要になる場合がありますので、ご確認願います。

*7: システム装置に増設する拡張ボードの組み合わせにより、ネットワークブートに制限があります。詳細については「ネットワークブートの制限事項」P.31をご参照ください。

□ HA8000 xBシリーズ

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		A *1		B	C	D	E		
		Windows *2	Linux				Windows	Linux	
10V	10AB/10BB/ 10CB	×	×	×	×	×	×	×	
20W	20AB/20BB/ 20EB/20FB/ 20GB/20HB	×	×	×	×	×	×	×	
30W	30AB/30BB	×	×	×	×	×	×	×	
50V	50AB	×	×	×	×	×	×	×	
70W	70KB	○	○ *3	×	○	○	○ *4	○	*5 *7
	70UB	×	×	×	×	×	×	×	
	70PB/70SB/ 70TB	×	×	×	×	×	×	×	
110W	110DB/110EB	×	×	×	×	×	×	×	
	110GB	○ *6	○ *3	×	○	○	○ *4 *6	○	
	110HB	×	×	×	×	×	×	×	
130W	130AB/130BB	○	○ *3	×	○	○	○ *4	○	*5 *7
270	270AB/270BB	○	○ *3	×	○	○	○ *4	○	*5 *7
	270GB/270HB	×	×	×	×	×	×	×	

A OSのクリアインストール

B システムBIOSやファームウェアのアップデート

C サービスパック、HotFixの適用、Linuxパッチファイルの適用

D バックアップ/リストア

E ディスク複製インストール

*1: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしていません。

*2: Windows 2000クリアインストールはサポートしていません。

*3: 管理サーバ for DPMをWindows Server 2003でご使用の場合、Linuxクリアインストールはサポート対象外です。

*4: Windows Server 2003モデル（Windows 2000ダウングレード代行サービス付）をご使用の場合、Windowsディスク複製インストール時、お客様所有のWindows 2000 プロダクトIDをご使用ください。

*5: システム装置に増設する拡張ボードの組み合わせにより、ネットワークブートに制限があります。詳細については「ネットワークブートの制限事項」P.31をご参照ください。

*6: Windowsプレインストールモデルをラックキャビネットに搭載してご使用の場合、Windows プロダクトIDはシステム装置添付「セットアップについて」表紙に貼り付けられているプロダクトIDのコピーをご参照ください。システム装置側面のCOAラベルに記載されたWindows プロダクトIDは視認できません。

*7: 拡張ボードの構成を変更した場合、ネットワークブートの再設定が必要になる場合がありますので、ご確認願います。

□ HA8000 xAシリーズ

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		A *1		B	C	D	E		
		Windows *2	Linux				Windows	Linux	
10V	10AA	×	×	×	×	×	×	×	
	10BA/10CA	○	×	○	○	○	○ *4	○	
20W	20AA/20EA 20FA/20HA	×	×	×	×	×	×	×	
	20BA	○	×	×	○	○	○ *4	○	*8
	20GA	×	×	×	○	○	○ *4	○	*8
30W	30AA	×	×	×	×	×	×	×	
	30BA	○	×	×	○	○	○ *4	○	*8
50V	50AA	×	○ *3	○	○	○	○ *4	○	
70W	70KA	○ *6	○ *3 *7	×	○	○	○ *4 *6	○	*8
	70MA	○ *6	○ *3 *7	×	○	○	○ *4 *6	○	*5 *8
	70PA	○ *6	○ *3	○	○	○	○ *4 *6	○	
	70TA	×	○ *3	○	○	○	○ *4 *6	○	
	70SA	×	×	×	×	×	×	×	
110W	110DA	○ *6	○ *3 *7	×	○	○	○ *4 *6	○	*8
	110EA	×	×	×	×	×	×	×	
	110GA	○ *6	○ *3	○	○	○	○ *4 *6	○	
	110HA	×	×	×	×	×	×	×	
130W	130AA/130BA	○	○ *3	○	○	○	○ *4	○	
270	270AA/270BA 270GA/270HA	○	○ *3	×	○	○	○ *4	○	*5 *8

A OSのクリーンインストール

B システムBIOSやファームウェアのアップデート

C サービスパック、HotFixの適用、Linux/パッチファイルの適用

D バックアップ/リストア

E ディスク複製インストール

*1: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしていません。

*2: Windows 2000クリーンインストールはサポートしていません。

*3: 管理サーバ for DPMをWindows Server 2003でご使用の場合、Linuxクリーンインストールはサポート対象外です。

*4: Windows Server 2003モデル（Windows 2000ダウングレード代行サービス付）をご使用の場合、Windowsディスク複製インストール時、お客様所有のWindows 2000 プロダクトIDをご使用ください。

*5: システム装置に増設する拡張ボードの組み合わせにより、ネットワークブートに制限があります。詳細については「ネットワークブートの制限事項」P.31をご参照ください。

*6: Windowsプレインストールモデルをラックキャビネットに搭載してご使用の場合、システム装置側面のCOAラベルに記載されたWindows プロダクトIDが視認できないため、サポート対象外となります。

*7: ネットワークインタフェースコネクタ-2（LAN 2）のMACアドレスを管理サーバ for DPMに登録する必要があります。

*8: 拡張ボードの構成を変更した場合、ネットワークブートの再設定が必要になる場合がありますので、ご確認願います。

□ HA8000 x9 シリーズ

○：サポート ×：サポート対象外

シリーズ	モデル	サポート機能（アルファベットは下記の機能に対応しています。）							備考
		A *1		B	C	D	E		
		Windows *2	Linux				Windows	Linux	
10V	10A9	×	×	×	×	×	×	×	
	10B9/10C9	○	×	○	○	○	○ *4	○	
20W	20A9/20E9/ 20F9	×	×	×	×	×	×	×	
	20B9	○	×	○	○	○	○ *4	○	
70W	70K9/70M9	○ *6	×	○	○	○	○ *4 *6	○	*5
	70L9	○ *6	×	○	○	○	○ *4 *6	○	
	70P9	○ *6	○ *3	○	○	○	○ *4 *6	○	
	70S9	×	×	×	×	×	×	×	
110W	110D9	○ *6	×	×	○	○	○ *4 *6	○	*7
	110G9	○ *6	○ *3	○	○	○	○ *4 *6	○	
	110H9	×	×	×	×	×	×	×	
130W	130A9/130B9	○	○ *3	○	○	○	○ *4	○	
270	270A9/270B9	○	○ *3	×	○	○	○ *4	○	*5 *7
	270G9/270H9	○	○ *3	○	○	○	○ *4	○	*5

A OSのクリーンインストール D バックアップ/リストア
 B システムBIOSやファームウェアのアップデート E ディスク複製インストール
 C サービスパック、HotFixの適用、Linuxパッチファイルの適用

- *1: JP1/ServerConductor/Deployment Managerの09-00以降ではサポートしていません。
- *2: Windows 2000クリーンインストールはサポートしていません。
- *3: 管理サーバ for DPMをWindows Server 2003でご使用の場合、Linuxクリーンインストールはサポート対象外です。
- *4: Windows Server 2003モデル（Windows 2000ダウングレード代行サービス付）をご使用の場合、Windowsディスク複製インストール時、お客様所有のWindows 2000 プロダクトIDをご使用ください。
- *5: システム装置に増設する拡張ボードの組み合わせやハードディスクの増設台数により、ネットワークブートに制限があります。詳細については「[ネットワークブートの制限事項](#)」P.31をご参照ください。
- *6: Windowsプレインストールモデルをラックキャビネットに搭載してご使用の場合、システム装置側面のCOAラベルに記載されたWindows プロダクトIDが確認できないため、サポート対象外となります。
- *7: 拡張ボードの構成を変更した場合、ネットワークブートの再設定が必要になる場合がありますので、ご確認願います。

ネットワークブートの設定方法

ネットワークブートを有効にするには、システム装置の「セットアップメニュー」から BIOS 設定値を変更します。

変更する設定値はシステム装置により異なります。以降の手順を参照し変更してください。

ただし、次のシリーズについてはシステム装置添付の『ユーザズガイド』「セットアップメニュー」に設定方法が記載されていますので、そちらをご参照ください。

- HA8000 xL シリーズ
- HA8000 xK1 シリーズ
- HA8000 xK / HA8000-es xK シリーズ
- HA8000 xJ / HA8000-es xJ シリーズ
- HA8000 xH / HA8000-es xH シリーズ
- HA8000 xG / HA8000-es xG シリーズ（RS440 AG モデルを除く）
- HA8000 xF シリーズ
- HA8000 xE シリーズ
- HA8000 xD シリーズ
- HA8000 xC シリーズ
- HA8000 xB シリーズ

「セットアップメニュー」の操作や起動・終了に関しては、システム装置添付の『ユーザズガイド』および『リファレンスガイド』をご参照ください。

…
補足

「セットアップメニュー」の設定を変更した後、必ず設定値を保存して終了してください。

□ HA8000/RS440 AGモデル

- 1 セットアップメニューを起動します。
- 2 「Advanced」-「LAN Configuration」（LAN 設定サブメニュー）にある「I/O Riser Board NIC ROM」の設定値を、「Disabled」から「Enabled」に変更します。
「I/O Riser Board NIC ROM」はネットワークインタフェース 3、4（I/O ライザボードの LAN コントローラ）に対応します。
- 3 設定値を保存して再起動し、再度「セットアップメニュー」を起動します。
- 4 「Boot Options」（ブートメニュー）の設定で、「IBA GE Slot xx00 vxxxx」（ネットワークインタフェース 3）または「IBA GE Slot xx01 vxxxx」（ネットワークインタフェース 4）から優先ブートするよう、項目を「Boot Option #1」に設定します。

□ HA8000/10V 10BA/10CA, 10B9/10C9 モデル

- 1 セットアップメニューを起動します。
- 2 「Boot」（ブートメニュー）にある「**First Boot Device**」の設定値を、「Floppy」から「**LAN**」に変更します。
- 3 「Boot」（ブートメニュー）にある「**On Board LAN Boot ROM**」の設定値を、「Disabled」から「**Enabled**」に変更します。

□ HA8000/20W 20BA/20GAモデル

- 1 セットアップメニューを起動します。
- 2 「Advanced」－「PCI Configuration」（PCI 設定サブメニュー）にある「**OnBoard LAN PXE Boot**」の設定値を、「Disabled」から「**Enabled**」に変更します。
- 3 設定値を保存して再起動し、再度「セットアップメニュー」を起動します。
- 4 「Boot」（ブートメニュー）の設定で、「**IBA GE xxxx Slot 0208 vxxxx**」から優先ブートするよう、項目をデバイスの先頭に設定します。

□ HA8000/20W 20B9 モデル

- 1 セットアップメニューを起動します。
- 2 「Boot」（ブートメニュー）にある「**First Boot Device**」の設定値を、「Floppy」から「**LAN**」に変更します。
- 3 「Boot」（ブートメニュー）にある「**On Board LAN Boot ROM**」の設定値を、「Disabled」から「**Enabled**」に変更します。

□ HA8000/30W 30BAモデル

- 1 セットアップメニューを起動します。
- 2 「Advanced」－「PCI Configuration」（PCI 設定サブメニュー）にある「**OnBoard LAN1 PXE Boot**」または「**OnBoard LAN2 PXE Boot**」の設定値を、「Disabled」から「**Enabled**」に変更します。
「OnBoard LAN1 PXE Boot」がネットワークインタフェース 1 に、
「OnBoard LAN2 PXE Boot」がネットワークインタフェース 2 に対応します。
- 3 設定値を保存して再起動し、再度「セットアップメニュー」を起動します。
- 4 「Boot」（ブートメニュー）の設定で、「**IBA xxxx Slot 0405**」または「**IBA xxxx Slot 0406**」から優先ブートするよう、項目をデバイスの先頭に設定します。
「IBA xxxx Slot 0405」がネットワークインタフェース 1 に、
「IBA xxxx Slot 0406」がネットワークインタフェース 2 に対応します。

□ HA8000/50V 50AAモデル

- 1 セットアップメニューを起動します。
- 2 「Boot」（ブートメニュー）にある「**OnBoard LAN BOOT ROM**」の設定値を、「Disabled」から「**Enabled**」に変更します。
- 3 設定値を保存して再起動し、再度「セットアップメニュー」を起動します。
- 4 「Boot」（ブートメニュー）にある「**Boot Device Priority**」の設定で、「**BBS-x(Network):xxxxxxxx**」から優先ブートするよう、項目をデバイスの先頭に設定します。

□ HA8000/70W 70KA/70MAモデル

- 1 セットアップメニューを起動します。
- 2 「Advanced」－「PCI Configuration」（PCI 設定サブメニュー）にある「**OnBoard LAN1 PXE Boot**」または「**OnBoard LAN2 PXE Boot**」の設定値を、「Disabled」から「**Enabled**」に変更します。
「OnBoard LAN1 PXE Boot」がネットワークインタフェース 1 に、
「OnBoard LAN2 PXE Boot」がネットワークインタフェース 2 に対応します。
- 3 設定値を保存して再起動し、再度「セットアップメニュー」を起動します。
- 4 「Boot」（ブートメニュー）の設定で、「**IBA xxxx Slot 0405**」または「**IBA GE xxxx Slot 0430 vxxxx**」から優先ブートするよう、項目をデバイスの先頭に設定します。
「IBA xxxx Slot 0405」がネットワークインタフェース 1 に、
「IBA GE xxxx Slot 0430 vxxxx」がネットワークインタフェース 2 に対応します。

□ HA8000/70W 70PA/70TA, 70P9 モデル

- 1 セットアップメニューを起動します。
- 2 「Boot」（ブートメニュー）にある「**OnBoard LAN BOOT ROM**」の設定値を、「Disabled」から「**Enabled**」に変更します。
- 3 設定値を保存して再起動し、再度「セットアップメニュー」を起動します。
- 4 「Boot」（ブートメニュー）にある「**Boot Device Priority**」の設定で、「**BBS-x(Network):xxxxxxxx**」から優先ブートするよう、項目をデバイスの先頭に設定します。

□ HA8000/70W 70K9/70L9/70M9 モデル

- 1 セットアップメニューを起動します。
- 2 「Boot」（ブートメニュー）にある「**OnBoard LAN-1 Boot ROM**」または「**OnBoard LAN-2 Boot ROM**」の設定値を、「Disabled」から「**Enabled**」に変更します。
「OnBoard LAN-1 Boot ROM」がネットワークインタフェース 1 に、
「OnBoard LAN-2 Boot ROM」がネットワークインタフェース 2 に対応します。
- 3 設定値を保存して再起動し、再度「セットアップメニュー」を起動します。
- 4 「Boot」（ブートメニュー）にある「**Boot Device Priority**」の設定で、「**BBS-x(Network):xxxxxxxx**」から優先ブートするよう、項目をデバイスの先頭に設定します。

□ HA8000/110W 110DAモデル

- 1 セットアップメニューを起動します。
- 2 「Advanced」－「PCI Configuration」（PCI 設定サブメニュー）にある「**OnBoard LAN1 PXE Boot**」または「**OnBoard LAN2 PXE Boot**」の設定値を、「Disabled」から「**Enabled**」に変更します。
「OnBoard LAN1 PXE Boot」がネットワークインタフェース 1 に、
「OnBoard LAN2 PXE Boot」がネットワークインタフェース 2 に対応します。
- 3 設定値を保存して再起動し、再度「セットアップメニュー」を起動します。
- 4 「Boot」（ブートメニュー）の設定で、「**IBA xxxx Slot 0405**」または「**IBA GE xxxx Slot 0430 vxxxx**」から優先ブートするよう、項目をデバイスの先頭に設定します。
「IBA xxxx Slot 0405」がネットワークインタフェース 1 に、
「IBA GE xxxx Slot 0430 vxxxx」がネットワークインタフェース 2 に対応します。

□ HA8000/110W 110GA, 110G9 モデル

- 1 セットアップメニューを起動します。
- 2 「Boot」（ブートメニュー）にある「**OnBoard LAN BOOT ROM**」の設定値を、「Disabled」から「**Enabled**」に変更します。
- 3 設定値を保存して再起動し、再度「セットアップメニュー」を起動します。
- 4 「Boot」（ブートメニュー）にある「**Boot Device Priority**」の設定で、「**BBS-x(Network):xxxxxxxx**」から優先ブートするよう、項目をデバイスの先頭に設定します。

□ HA8000/110W 110D9 モデル

- 1 セットアップメニューを起動します。
- 2 「Advanced」－「PCI Configuration」（PCI 設定サブメニュー）にある「**OnBoard LAN1 PXE Boot**」または「**OnBoard LAN2 PXE Boot**」の設定値を、「Disabled」から「**Enabled**」に変更します。
「OnBoard LAN1 PXE Boot」がネットワークインタフェース 1 に、
「OnBoard LAN2 PXE Boot」がネットワークインタフェース 2 に対応します。
- 3 設定値を保存して再起動し、再度「セットアップメニュー」を起動します。
- 4 「Boot」（ブートメニュー）の設定で、「**IBA xxxx Slot 0405**」または「**IBA xxxx Slot 0406**」から優先ブートするよう、項目をデバイスの先頭に設定します。
「IBA xxxx Slot 0405」がネットワークインタフェース 1 に、
「IBA xxxx Slot 0406」がネットワークインタフェース 2 に対応します。

□ HA8000/130W 130AA/130BA, 130A9/130B9 モデル

- 1 セットアップメニューを起動します。
- 2 「Boot」（ブートメニュー）にある「**OnBoard LAN BOOT ROM**」の設定値を、「Disabled」から「**Enabled**」に変更します。
- 3 設定値を保存して再起動し、再度「セットアップメニュー」を起動します。
- 4 「Boot」（ブートメニュー）にある「**Boot Device Priority**」の設定で、「**BBS-x(Network):xxxxxxx**」から優先ブートするよう、項目をデバイスの先頭に設定します。

□ HA8000/270 270AA/270BA, 270A9/270B9 モデル

- 1 セットアップメニューを起動します。
- 2 「Advanced」－「Advanced features」（拡張機能設定サブメニュー）にある「**OnBoard Lan1 BootStrap**」または「**OnBoard Lan2 BootStrap**」の設定値を、「Disabled」から「**Enabled**」に変更します。
「OnBoard Lan1 BootStrap」がネットワークインタフェース 1 に、
「OnBoard Lan2 BootStrap」がネットワークインタフェース 2 に対応します。
- 3 設定値を保存して再起動し、再度「セットアップメニュー」を起動します。
- 4 「Boot」（ブートメニュー）の設定で、「**IBA GE xxxx xxxxx**」から優先ブートするよう、項目をデバイスの先頭に設定します。

□ HA8000/270 270GA/270HAモデル

- 1 セットアップメニューを起動します。
- 2 「Advanced」 - 「PCI Configuration」 - 「Embedded NIC」（オンボード LAN コントローラー設定サブメニュー）にある「Option ROM Scan」の設定値を、「Disabled」から「Enabled」に変更します。
- 3 設定値を保存して再起動し、再度「セットアップメニュー」を起動します。
- 4 「Boot」（ブートメニュー）の設定で、「IBA GE xxxx Vxxxx」から優先ブートするよう、項目をデバイスの先頭に設定します。

□ HA8000/270 270G9/270H9 モデル

- 1 セットアップメニューを起動します。
- 2 「Boot」（ブートメニュー）にある「OnBoard LAN BOOT ROM」の設定値を、「Disabled」から「Enabled」に変更します。
- 3 設定値を保存して再起動し、再度「セットアップメニュー」を起動します。
- 4 「Boot」（ブートメニュー）にある「Boot Device Priority」の設定で、「BBS-x(Network):xxxxxxxx」から優先ブートするよう、項目をデバイスの先頭に設定します。

2

制限事項について

この章では、『JPI/ServerConductor/Deployment Manager』を使用する場合の制限事項について説明します。

ネットワークブートの制限事項

- システム装置には、VGA BIOS や SCSI BIOS などが、プログラムをロードするために必要な拡張 ROM 領域 (C0000h~DFFFFh) が用意されています。オンボード LAN のネットワークブート機能を有効にする場合、オンボード SCSI や拡張ボードの BIOS が拡張 ROM 領域を占有し、ネットワークブートで使用する領域が不足することがあります。
このような場合、ネットワークブートの ROM がロードされないため、使用できません。

次の機種では、拡張ボードの組み合わせやハードディスクの接続台数によってネットワークブートに制限が発生します。この構成を回避くださいますよう、お願いいたします。

□ HA8000 xLシリーズ

シリーズ	モデル	標準搭載ボード	増設する拡張ボード	制限事項
RS440	AL/CL	ディスクアレイコントローラ (LSI社製: SAS RAID [SAS2.0])	—	オンボード LAN2、3、4 においてネットワークブートは使用できません。 オンボード LAN1 のみネットワークブートを使用できます。
	BL	ディスクアレイコントローラ (日立製: SAS RAID)	—	
RS220	AL/BL/CL	ディスクアレイコントローラ (LSI社製: SAS RAID [SAS2.0])	—	オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	DL	ディスクアレイコントローラ (LSI社製: SAS RAID [SAS2.0])	—	
	EL	ディスクアレイコントローラ (日立製: SAS RAID)	—	
RS210	AL/BL/CL	ディスクアレイコントローラ (LSI社製: SAS RAID [SAS2.0])	—	オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	EL	ディスクアレイコントローラ (日立製: SAS RAID)	—	
RS110	AL/BL	ディスクアレイコントローラ (LSI社製: SAS RAID [SAS2.0])	—	オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	CL/EL	オンボード ディスクアレイ コントローラ	—	
	DL/FL	—	—	
	GL	ディスクアレイコントローラ (LSI社製: SAS RAID [SAS2.0])	—	
TS20	AL/BL	ディスクアレイコントローラ (LSI社製: SAS RAID [SAS2.0])	—	オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	EL	ディスクアレイコントローラ (日立製: SAS RAID)	—	
TS10	AL/BL	ディスクアレイコントローラ (LSI社製: SAS RAID [SAS2.0])	—	オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	CL/EL	オンボード ディスクアレイ コントローラ	—	
	DL/FL	—	—	
	GL	ディスクアレイコントローラ (LSI社製: SAS RAID [SAS2.0])	—	
SS10	AL	ディスクアレイコントローラ (LSI社製: SAS RAID [SAS2.0])	—	オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	CL/EL	オンボード ディスクアレイ コントローラ	—	
	DL/FL	—	—	

*1: オンボードLAN1、2のどちらか一方のみを使用してください。

□ HA8000 xK1 シリーズ

シリーズ	モデル	標準搭載ボード	増設する拡張ボード	制限事項
RS440	AK1/CK1	ディスクアレイコントローラ (LSI社製:SAS RAID [SAS2.0])	—	オンボード LAN2、3、4 においてネットワークブートは使用できません。 オンボード LAN1のみネットワークブートを使用できます。
	BK1	ディスクアレイコントローラ (日立製:SAS RAID)	—	
RS220	AK1/BK1/ HK1	ディスクアレイコントローラ (LSI社製:SAS RAID [SAS2.0])	—	オンボード LAN1、2のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	FK1/JK1	ディスクアレイコントローラ (日立製:SAS RAID)	—	
	KK1/LK1/ NK1	ディスクアレイコントローラ (LSI社製:SAS RAID [SAS2.0])	—	
RS210	AK1/BK1/ HK1	ディスクアレイコントローラ (LSI社製:SAS RAID [SAS2.0])	—	オンボード LAN1、2のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	FK1/JK1	ディスクアレイコントローラ (日立製:SAS RAID)	—	
	KK1/LK1/ NK1	ディスクアレイコントローラ (LSI社製:SAS RAID [SAS2.0])	—	
RS110	AK1	ディスクアレイコントローラ (LSI社製:SAS RAID [SAS2.0])	—	オンボード LAN1、2のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	BK1	オンボード ディスクアレイ コントローラ	—	
	CK1	—	—	
TS20	AK1/BK1/ EK1	ディスクアレイコントローラ (LSI社製:SAS RAID [SAS2.0])	—	オンボード LAN1、2のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	FK1/GK1	ディスクアレイコントローラ (日立製:SAS RAID)	—	
	KK1/LK1	ディスクアレイコントローラ (LSI社製:SAS RAID [SAS2.0])	—	

*1: オンボードLAN1、2のどちらか一方のみを使用してください。

□ HA8000 xK / HA8000-es xKシリーズ

シリーズ	モデル	標準搭載ボード	増設する拡張ボード	制限事項
RS440	AK	ディスクアレイコントローラ (LSI社製:SAS RAID [SAS2.0])	—	オンボード LAN2、3、4 においてネットワークブートは使用できません。 オンボード LAN1 のみネットワークブートを使用できます。
	BK	ディスクアレイコントローラ (日立製:SAS RAID)	—	
RS220	AK/BK/ CK/HK	ディスクアレイコントローラ (LSI社製:SAS RAID)	—	オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	FK/GK/ JK	ディスクアレイコントローラ (日立製:SAS RAID)	—	
	KK/LK/ MK/NK	ディスクアレイコントローラ (LSI社製:SAS RAID [SAS2.0])	—	
RS210	AK/BK/ CK/HK	ディスクアレイコントローラ (LSI社製:SAS RAID)	—	オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	FK/GK/ JK	ディスクアレイコントローラ (日立製:SAS RAID)	—	
	KK/LK/ MK/NK	ディスクアレイコントローラ (LSI社製:SAS RAID [SAS2.0])	—	
RS110	AK	ディスクアレイコントローラ (LSI社製:SAS RAID)	—	オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	BK	オンボード ディスクアレイ コントローラ	—	
	CK	—	—	
TS20	AK/BK/ EK	ディスクアレイコントローラ (LSI社製:SAS RAID)	—	オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	FK/GK	ディスクアレイコントローラ (日立製:SAS RAID)	—	
	KK/LK	ディスクアレイコントローラ (LSI社製:SAS RAID [SAS2.0])	—	

*1: オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみを使用してください。

□ HA8000 xJ / HA8000-es xJシリーズ

シリーズ	モデル	標準搭載ボード	増設する拡張ボード	制限事項
RS440	AJ	ディスクアレイコントローラ (LSI社製：SAS RAID)	—	オンボード LAN1、2 ともにネットワークブートは使用できません。 オンボード LAN3、4 のみネットワークブートを使用できます。
	BJ	ディスクアレイコントローラ (日立製：SAS RAID)	—	
RS220	AJ/BJ/ CJ/DJ/ HJ	ディスクアレイコントローラ (LSI社製：SAS RAID)	—	オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	FJ/GJ/ JJ	ディスクアレイコントローラ (日立製：SAS RAID)	—	
	KJ/LJ	ディスクアレイコントローラ (LSI社製：SAS RAID [SAS2.0])	—	
RS210	AJ/BJ/ CJ/HJ	ディスクアレイコントローラ (LSI社製：SAS RAID)	—	オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	FJ/GJ/ JJ	ディスクアレイコントローラ (日立製：SAS RAID)	—	
	KJ/LJ	ディスクアレイコントローラ (LSI社製：SAS RAID [SAS2.0])	—	
RS110	AJ	ディスクアレイコントローラ (LSI社製：SAS RAID)	—	オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	BJ	オンボード ディスクアレイ コントローラ	—	
	CJ	—	—	
TS20	AJ/BJ/ EJ	ディスクアレイコントローラ (LSI社製：SAS RAID)	—	オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
	FJ/GJ	ディスクアレイコントローラ (日立製：SAS RAID)	—	
	KJ/LJ	ディスクアレイコントローラ (LSI社製：SAS RAID [SAS2.0])	—	

*1: オンボードLAN1、2のどちらか一方のみを使用してください。

□ HA8000 xH / HA8000-es xHシリーズ

シリーズ	モデル	標準搭載ボード	増設する拡張ボード	制限事項
RS220	AH/BH/ CH/DH/ EH	ディスクアレイコントローラ (SAS RAID)	—	オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
RS210	AH/BH/ CH/EH	ディスクアレイコントローラ (SAS RAID)	—	オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1
TS20	AH/BH/ CH/DH	ディスクアレイコントローラ (SAS RAID)	—	オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみネットワークブートを使用できます。*1

*1: オンボードLAN1、2のどちらか一方のみを使用してください。

□ HA8000 xG / HA8000-es xGシリーズ

シリーズ	モデル	標準搭載ボード	増設する拡張ボード	制限事項
RS220	AG/BG/ CG/DG	ディスクアレイコントローラ (SAS RAID)	—	オンボード LAN1、2 のどちら か一方のみネットワークブ ートを使用できます。*1 *2
RS210	AG/BG/ CG	ディスクアレイコントローラ (SAS RAID)	—	オンボード LAN1、2 のどちら か一方のみネットワークブ ートを使用できます。*1 *2
TS20	AG/BG/ CG/DG	ディスクアレイコントローラ (SAS RAID)	—	オンボード LAN1、2 のどちら か一方のみネットワークブ ートを使用できます。*1 *2

*1: オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみを使用してください。

*2: 流通ネットワーク機器との組み合わせにおいて、流通ネットワーク機器のリンクスピードが1Gbps接続の場合、システム装置のBIOSのバージョンが“F3”以前ではネットワークブートできない事象が確認されています。本現象は、BIOSバージョン“F4”以降で対策しております。ご使用のシステム装置のBIOSバージョンが“F4”よりも古い場合は、次のURLを参照し、BIOSをバージョン“F8”にアップデートしてからご使用ください。

http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/download/drv/drv_hm/210gup3.htm

□ HA8000 xFシリーズ

シリーズ	モデル	標準搭載ボード	増設する拡張ボード	制限事項
110W	110EF	—	SCSI ボード (CS7363)	オンボード LAN1、2 ともにネ ットワークブートが使用でき ません。*2
	110KF	ディスクアレイ コントローラ (SAS RAID)	Fibre Channel ボード (CC7421)	オンボード LAN1、2 のどちら か一方のみネットワークブ ートを使用できます。*1
			Fibre Channel ボード (CC7402)	オンボード LAN1、2 ともにネ ットワークブートが使用でき ません。*2
	110LF	ディスクアレイ コントローラ (SATA RAID)	Fibre Channel ボード (CC7421)	オンボード LAN1、2 のどちら か一方のみネットワークブ ートを使用できます。*1
			Fibre Channel ボード (CC7402)	オンボード LAN1、2 ともにネ ットワークブートが使用でき ません。*2
	130W	130CF 130DF	ディスクアレイ コントローラ ボード (CA7710)	—
次の3種類のボードを同時搭載 ・ SCSI ボード (CS7363) ・ SAS ボード (CE7101) ・ Fibre Channel ボード (CC7421/CC7402)				オンボード LAN1、2 ともにネ ットワークブートが使用でき ません。*2
130EF 130FF		ディスクアレイ コントローラ ボード (CA7080)	—	オンボード LAN1、2 のどちら か一方のみネットワークブ ートを使用できます。*3
			次の3種類のボードを同時搭載 ・ SCSI ボード (CS7363) ・ SAS ボード (CE7101) ・ Fibre Channel ボード (CC7421/CC7402)	オンボード LAN1、2 ともにネ ットワークブートが使用でき ません。*2

*1: オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみを使用するか、拡張ボードの構成を変更してください。

*2: 拡張ボードの構成を変更してください。

*3: オンボード LAN1、2 のどちらか一方のみを使用してください。

□ HA8000 xEシリーズ

シリーズ	モデル	標準搭載ボード	増設する拡張ボード	制限事項
110W	110GE	ディスクアレイ コントローラ ボード (CA7322)	SCSI ボード (CS7363)	オンボード LAN1、2 のどちら か一方のみネットワークブ ートを使用できます。*1
			SAS ボード (CE7101)	オンボード LAN1、2 ともにネ ットワークブートが使用でき ません。*2
	110KE	ディスクアレイ コントローラ (SAS RAID)	Fibre Channel ボード (CC7421)	オンボード LAN1、2 のどちら か一方のみネットワークブ ートを使用できます。*1
			Fibre Channel ボード (CC7402) SAS ボード (CE7101)	オンボード LAN1、2 ともにネ ットワークブートが使用でき ません。*2
130W	130AE 130BE	ディスクアレイ コントローラ ボード (CA7321)	—	オンボード LAN1、2 のどちら か一方のみネットワークブ ートを使用できます。*3
			<ul style="list-style-type: none"> • SCSI ボード (CS7363) • Fibre Channel ボード (CC7223 / CC7224) 2 枚以上 	オンボード LAN1、2 ともにネ ットワークブートが使用でき ません。*2
			次の 3 種類のボードを同時搭載 <ul style="list-style-type: none"> • SCSI ボード (CS7363) • SAS ボード (CE7101) • Fibre Channel ボード (CC7421/CC7402) 	
	130CE 130DE	ディスクアレイ コントローラ ボード (CA7710)	—	オンボード LAN1、2 のどちら か一方のみネットワークブ ートを使用できます。*3
			<ul style="list-style-type: none"> • SCSI ボード (CS7363) • Fibre Channel ボード (CC7223 / CC7224) 2 枚以上 	オンボード LAN1、2 ともにネ ットワークブートが使用でき ません。*2
			次の 3 種類のボードを同時搭載 <ul style="list-style-type: none"> • SCSI ボード (CS7363) • SAS ボード (CE7101) • Fibre Channel ボード (CC7421/CC7402) 	
			<ul style="list-style-type: none"> • SAS ボード (CE7101) • Fibre Channel ボード (CC7223 / CC7224) 2 枚以上 	

*1: オンボードLAN1、2のどちらか一方のみを使用するか、拡張ボードの構成を変更してください。

*2: 拡張ボードの構成を変更してください。

*3: オンボードLAN1、2のどちらか一方のみを使用してください。

□ HA8000 xDシリーズ

シリーズ	モデル	標準搭載ボード	増設する拡張ボード	制限事項
130W	130AD 130BD	ディスクアレイ コントローラ ボード (CA7310)	・Fibre Channel ボード (CC7301)	オンボード LAN1, 2 ともにネ ットワークブートが使用でき ません。*1
			・Fibre Channel ボード (CC7203)	
			・SCSI ボード (CS7361)	
			・Fibre Channel ボード (CC7301)	
			・Fibre Channel ボード (CC7204)	
・SCSI ボード (CS7361)				
			Fibre Channel ボード (CC7203) 2 枚以上	
			Fibre Channel ボード (CC7204) 2 枚以上	
			SCSI ボード (CS7361) 2 枚以上	

*1: 拡張ボードの構成を変更してください。

□ HA8000 xCシリーズ

シリーズ	モデル	標準搭載ボード	増設する拡張ボード	制限事項
130W	130AC 130BC	ディスクアレイ コントローラ ボード (CA7310)	・Fibre Channel ボード (CC7301)	オンボード LAN1, 2 ともにネ ットワークブートが使用でき ません。*1
			・Fibre Channel ボード (CC7202 または CC7203)	
			・SCSI ボード (CS7361)	
			・Fibre Channel ボード (CC7301)	
			・Fibre Channel ボード (CC7211 または CC7213)	
			・SCSI ボード (CS7361)	
			Fibre Channel ボード (CC7202) 2 枚以上	
Fibre Channel ボード (CC7203) 2 枚以上				
Fibre Channel ボード (CC7211) 2 枚以上				
Fibre Channel ボード (CC7213) 2 枚以上				
SCSI ボード (CS7361) 2 枚以上				

*1: 拡張ボードの構成を変更してください。

□ HA8000 xBシリーズ

シリーズ	モデル	標準搭載ボード	増設する拡張ボード	制限事項
70W	70KB	ディスクアレイ コントローラ ボード (CA7212)	<ul style="list-style-type: none"> ・ディスクアレイコントローラ ボード (CA7260) ・SCSI ボード (CS7361) ・Fibre Channel ボード (CC7202) ・SCSI ボード (CS7361) ・Fibre Channel ボード (CC7211) ・SCSI ボード (CS7361) SCSI ボード (CS7361) 2 枚以上 	オンボード LAN1, 2 ともにネ ットワークブートが使用でき ません。*1
		ディスクアレイ コントローラ ボード (CA7260)	<ul style="list-style-type: none"> ・Fibre Channel ボード (CC7301) ・Fibre Channel ボード (CC7202) ・SCSI ボード (CS7361) ・Fibre Channel ボード (CC7301) ・Fibre Channel ボード (CC7211) ・SCSI ボード (CS7361) ・Fibre Channel ボード (CC7301) ・Fibre Channel ボード (CC7202) 	
130W	130AB 130BB	ディスクアレイ コントローラ ボード (CA7212)	<ul style="list-style-type: none"> ・Fibre Channel ボード (CC7301) ・Fibre Channel ボード (CC7202) ・SCSI ボード (CS7361) ・Fibre Channel ボード (CC7301) ・Fibre Channel ボード (CC7211) ・SCSI ボード (CS7361) Fibre Channel ボード (CC7202) 2 枚以上 Fibre Channel ボード (CC7211) 2 枚以上 SCSI ボード (CS7361) 2 枚以上 	オンボード LAN1, 2 ともにネ ットワークブートが使用でき ません。*1
		ディスクアレイ コントローラ ボード (CA7260)	<ul style="list-style-type: none"> ・Fibre Channel ボード (CC7301) ・Fibre Channel ボード (CC7202) ・SCSI ボード (CS7361) ・Fibre Channel ボード (CC7301) ・Fibre Channel ボード (CC7211) ・SCSI ボード (CS7361) ・Fibre Channel ボード (CC7301) ・Fibre Channel ボード (CC7202) Fibre Channel ボード (CC7202) 2 枚以上 Fibre Channel ボード (CC7211) 2 枚以上 SCSI ボード (CS7361) 2 枚以上 	
270	270AB 270BB	ディスクアレイ コントローラ ボード (CA7222)	<ul style="list-style-type: none"> ・SCSI ボード (CS7361) ・ディスクアレイコントローラ ボード (CA7260) ・SCSI ボード (CS7361) ・ディスクアレイコントローラ ボード (CA7270) ・SCSI ボード (CS7361) ・ディスクアレイコントローラ ボード (CA7280) 	オンボード LAN1 (ネットワ ークインタフェース 1) のネット ワークブートが使用できませ ん。*2
		ディスクアレイ コントローラ ボード (CA7270 または CA7280)	<ul style="list-style-type: none"> ・SCSI ボード (CS7361) ・Fibre Channel ボード (CC7202) 3 枚以上 	

*1: 拡張ボードの構成を変更してください。

*2: 拡張ボードの構成を変更してください。なお、オンボード LAN2 (ネットワークインタフェース 2) はネットワークブートに使用できません。

□ HA8000 xAシリーズ

シリーズ	モデル	標準搭載ボード	増設する拡張ボード	制限事項
70W	70MA	—	—	オンボード LAN2 (ネットワークインタフェース 2) のネットワークブートが使用できません。*1
270	270AA 270BA	ディスクアレイ コントローラ ボード (CA7222)	・ディスクアレイコントローラ ボード (CA7240) ・ディスクアレイコントローラ ボード (CA7250)	オンボード LAN2 (ネットワークインタフェース 2) のネットワークブートが使用できません。*2
	270GA 270HA	ディスクアレイ コントローラ ボード (CA7222)	・ディスクアレイコントローラ ボード (CA7240) ・ディスクアレイコントローラ ボード (CA7250)	ネットワークブートを使用する場合、拡張スロット (PCI) 6 にボードを搭載することができません。

*1: オンボード LAN1 (ネットワークインタフェースコネクタ 1) のみを使用してください。

*2: オンボード LAN1 (ネットワークインタフェースコネクタ 1) のみを使用するか、拡張ボードの構成を変更してください。

□ HA8000 x9 シリーズ

シリーズ	モデル	標準搭載ボード	増設する拡張ボード またはハードディスク構成	制限事項
70W	70K9	ディスクアレイ コントローラ ボード (SCSI RAID 用)	ディスクアレイコントローラ ボード (CA7250)	オンボード LAN2 (ネットワークインタフェース 2) のネットワークブートが使用できません。*1
			・ディスクアレイコントローラ ボード (CA7250) ・Fibre Channel ボード (CC7211)	オンボード LAN1, 2 とともにネットワークブートが使用できません。*2
	70M9	—	ハードディスクを 3 台接続	オンボード LAN2 (ネットワークインタフェース 2) のネットワークブートが使用できません。*1
			ハードディスクを 4 台接続	オンボード LAN1, 2 とともにネットワークブートが使用できません。*2
			Fibre Channel ボード (CC7211)	オンボード LAN2 (ネットワークインタフェース 2) のネットワークブートが使用できません。*1
270	270A9 270B9	ディスクアレイ コントローラ ボード (CA7222)	・ディスクアレイコントローラ ボード (CA7240) ・ディスクアレイコントローラ ボード (CA7250)	オンボード LAN2 (ネットワークインタフェース 2) のネットワークブートが使用できません。*1
	270G9 270H9	ディスクアレイ コントローラ ボード (CA7222)	・ディスクアレイコントローラ ボード (CA7240) ・Fibre Channel ボード (CC7211)	オンボード LAN2 (ネットワークインタフェース 2) のネットワークブートが使用できません。*1

*1 オンボード LAN1 (ネットワークインタフェースコネクタ 1) のみを使用するか、拡張ボードまたはハードディスクの構成を変更してください。

*2 拡張ボードまたはハードディスクの構成を変更してください。

□ HA8000 シリーズ共通の制限事項

- Wake On LAN は、一度 ACPI に対応した OS を起動させた後に使用できます。
- 日立がサポートしていない拡張ボードを搭載された場合、すべてのシステム装置においてネットワークブートが使用できない場合があります。

BIOSアップデート時の制限事項

- BIOS アップデートの内容により、システム装置の BIOS アップデート後、再起動中に POST で一時停止することがあります。この場合、遠隔地から電源 OFF 操作を行うことができないため、『JP1/ServerConductor/Deployment Manager』での BIOS アップデートも行うことができなくなります。

3

『Deployment Manager』用アップデートツールの作成について

この章では、『JP1/ServerConductor/Deployment Manager』でシステム BIOS やファームウェアなどのアップデートに使用する FD の作成について説明します。

なお、フロッピーディスクドライブが搭載または接続されていないシステム装置は、アップデートツールを使用することはできません。

アップデートツール作成手順

『JP1/ServerConductor/Deployment Manager』対応ファイルをダウンロードサイトよりダウンロードし自己解凍したファイルと、システム装置添付の「Utility Boot Disk」を使用して、起動 FD 形式のアップデートツールを作成します。

なお、システム装置が『JP1/ServerConductor/Deployment Manager』によるシステム BIOS ・ファームウェアのアップデートに対応している必要があります。

→「ネットワークブートを必要とする機能とサポート機種」P.5

- 1 対象となるファイルをダウンロードし、自己解凍します。
ダウンロードサイトは次になります。
<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/OSD/pc/ha/download/dpm/index.html>
- 2 FD (1.44MB/2HD) を 1 枚用意し、「BIOS Update Tool」と記載したラベルを貼ります。
また、システム装置添付の「Utility Boot Disk」を用意します。
- 3 コマンドプロンプトにて、ファイルを自己解凍して作成されたディレクトリに移動し、次のように入力後 [Enter] キーを押します。
BIOS アップデートの場合：“MAKEBIOS”
ファームウェアアップデートの場合：“MAKEFW”



「アップデートツール」の作成前に、実行中のアプリケーション等をすべて終了してください。

- 4 「BIOS Update Tool」のラベルを貼った FD をドライブ A に入れ、任意のキーを押します。
FD がフォーマットされます。

- 5 [「BIOS Update Tool」FD を取り出してください。] というメッセージが表示されたら「BIOS Update Tool」FD をドライブ A から取り出し、任意のキーを押します。
- 6 「Utility Boot Disk」FD をライトプロテクト状態にしてドライブ A に入れ、任意のキーを押します。
メッセージが表示されるので、[Enter] キーを押します。
- 7 メッセージが表示されたら「Utility Boot Disk」FD をドライブ A から取り出し、「BIOS Update Tool」FD に入れ替えて [Enter] キーを押します。
- 8 ファイルコピー後、[別のディスクをコピーしますか?] と表示されるので、[N] を入力してから [Enter] キーを押します。
- 9 次のメッセージが表示されたら「BIOS Update Tool」FD をドライブ A から取り出し、任意のキーを押した後、コマンドプロンプトを終了します。


```
*****  
「BIOS Update Tool」が作成できました。  
*****
```

以上で「BIOS Update Tool」FD の作成は終了です。

DeploymentManager サプリメントガイド

第 31 版 2011 年 6 月

無断転載を禁止します。

 **株式会社 日立製作所**
エンタープライズサーバ事業部

〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下 1 番地

<http://www.hitachi.co.jp>